

平成 26 年度 上越市「学校保健部」活動報告

部長 山崎 美枝子

1 研究主題

児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援〈二年次〉

2 研究の概要

【目的】児童生徒の「健康管理能力の育成」に視点を置いた保健教育の効果的な支援について、実践の中から明らかにする。

【内容】「健康管理能力の育成」を目指す支援内容として設定された5つの領域から、養護教諭部として保健教育を選択し、上越市の健康課題である「生活習慣」に焦点を当て研究を推進する。平成 25 年度に収集した各校の実践を基にしながら、さらに保健教育教材研修や授業実践等を通して交流を深める。年度末には「生活習慣病予防教育資料集」を作成し共有しながら、各校での実践を進め、効果的な支援について検証していく。

3 全体研修会の概要

日時：平成 26 年 9 月 22 日（月） 13:30～16:45

会場：上越市教育プラザ 201 会議室 参加人数：82 名

【講演】「組織的に進めるこれからの『健康教育』への視点―「気軽に」「楽しく」健康教育に取り組むヒント―」
講師 文部科学省スポーツ青少年局学校健康教育課教科調査官 森 良一 様

【実践発表】「元気アップ！かみかみ大作戦」

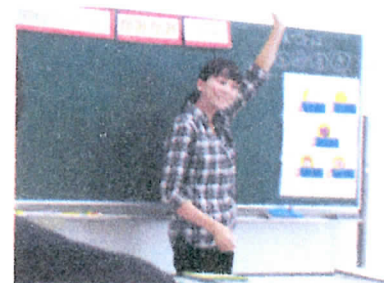
発表者 上越市立針小学校養護教諭 竹田 佳奈子

【講演の主な内容】

- ・「組織的に、一人で抱え込まない！」
- ・学校保健活動のマネジメント
- ・事例から学ぶ
 - 事例① 心の発達⇒生活経験や学習が関わっている
 - 事例② エイズ・性感染症の予防⇒学習指導要領
 - 事例③ 地域学校保健委員会
- ・学校保健活動にイノベーション⇒新たな方向のアイデアへの期待

【実践発表の主な内容】

- ・実践アイデアシートを共通ツールとして、各中学校区で作成した。当日は、実際のシートを基に、模擬授業も行われた。
- ・実際に使用されている内容だったため、フロアはより具体的に、実践的に学ぶことができた。



4 成果と課題

一年次に集積した内容を土台にして、中学校区単位で、アイデアを出し合い、意見交流・情報交換をしながら指導資料を作成した。このことにより、子どもの健康課題の共有化が図られ、「校区の子どもたちに何を伝えていくか」という視点から見直すことができた。また、ワークショップ型研修スタイルを取り入れる等、研修の在り方についても考える機会となった。年度内に各校の実践に向けて資料集を作成する。